



学習プラットフォーム「Monoxer」の開発・運営を行う モノグサ株式会社様を金融面からサポート

商工中金は、事業性の判断が難しく、収益化に時間を要する分野に取り組む創業間もない中小企業の皆さまを、関係機関と連携しながら、積極的にサポートしています。

商工中金（東京支店）は、モノグサ株式会社様（本社：東京都千代田区、代表者：竹内 孝太郎様、畔柳 圭佑様）に対し、知識習得や記憶定着を可能にする学習プラットフォームの事業拡大に必要な資金として、5億円を融資しました。

同社は、スマートフォンやタブレット上のアプリで容易に利用することができる学習プラットフォーム「Monoxer」を運営するスタートアップ企業です。生徒一人ひとりの学習内容をAIが分析し、習熟度や忘却度に応じて出題頻度や難易度を調整、記憶の定着に必要な問題を自動作成するなど、従来人では提供することが難しかった、個々人のレベルに応じた学習を実現できることから、現在、全国4,000以上の学校現場や学習塾などで導入されています。

商工中金は、経営者や外部機関へのヒアリングを通じた綿密な事業性評価を実施し、同社の強みと財務上の課題を共有。AIの活用によって学習者の記憶定着をサポートする同社の取り組みは、学力差の解消や基礎知識の定着といった内閣府が進める教育水準の引上げにも繋がり、社会的な意義が高いと判断。同社の事業拡大に必要な資金を「経営者保証に関するガイドライン」に基づき、無保証で融資しました。

商工中金は、創業ステージにある中小企業の皆さまの支援を通じ、経済の発展に貢献してまいります。

【モノグサ株式会社様の概要】

所在地	東京都千代田区飯田橋 3-8-5 住友不動産飯田橋駅前ビル7階
代表者	竹内 孝太郎様、畔柳 圭佑様
資本金	1億円
従業員数	105名（2023年2月現在）
設立	2016年8月
業種	情報通信業

記憶を日常に。



MONOXER